

ついに神戸市で中学校給食実現!



駅頭、小・中学校門前などで。署名は東灘区で1万1千筆を超えました。(右から、きだ県議、松本市議)

神戸市教育委員会は3月22日に中学校給食導入を発表しました。実現を求める市民の皆さんの大きな世論が、長年家庭弁当に固執していた神戸市を変え、とうとう実ったものです。来年2014年度から一部の中学校で始め、2015年度に全校実施の予定です。私ども日本共産党も一昨年の県・市議選以来一貫して訴え、署名運動の先頭にも立ってまいりました。皆さんと一緒に喜びたいと思います。

を選ぶ「選択制」の余地を残しています。これでは、ほとんど利用されない今の弁当販売制度とあまり変わらないものになりかねません。



西宮市立中学校の給食を視察。手際よく配膳、心とむ給食の時間

業者弁当はやめ、全員で温かく食べる給食を

きだ結と日本共産党は引き続き、子どもと保護者、市民に喜ばれる中学校給食の実現へがんばります。7月の県知事選、10月の市長選でも問われます。私どもは、業者弁当給食はやめ、またきっぱりと全員給食制にすべきだと考えます。そして、安全で作りたい、熱々でおいしい自校調理方式など、温かく小学校のような充実した給食になるよう全力を挙げます。



全員で温かく食べられる中学校給食を、神戸市教育委員会に申し入れ(2月19日)

同時に懸念も

同時に、充実した給食になるか、懸念があります。市教委が発表した方式は、安上がりの「デリバリーランチボックス」(業者弁当)給食です。業者弁当給食は冷たく、どこでも不評です。また、「全員給食が基本」といいながら「家庭弁当の持参も可」と、給食か家庭弁当

こども医療費助成

県、通院も中3まで対象拡大

きだ結と日本共産党は子どもの医療費無料化を一貫して求めてきました。その結果、今年度県下19市町が中3まで無料化。神戸市も昨年12月から2歳まで無料になり、所得制限も緩和されました。兵庫県は今年7月から通院の助成を現行の小6から中3までに拡大し、入院は一旦全額支払う必要がなくなります(神戸市も同内容)。どの市町に住んでも安心して子育てができるよう、県の制度として中3まで自己負担・所得制限なしの無料化実現に、ひきつづきを合わせましょう。

神戸市の乳幼児・こども医療費助成制度
(0歳以外は所得制限あり)

	0~2歳	3歳~小3	小4~小6	中1~中3
通院	自己負担なし	1医院、薬局ごとに1日800円(低所得600円)を限度に月2回まで負担	2割負担	現行3割負担⇒7月から2割負担
入院	自己負担なし			現行一旦3割支払い申請後償還⇒7月から窓口払い不要

業者弁当給食

10℃以下で管理義務冷たい

厚生労働省のマニュアルでは、調理済み食品は10℃以下または65℃以上で管理・配送することが義務づけられています。大きな容器で運ぶ食缶方式では保温食缶を使って65℃以上に保てますが、それができない弁当方式は10℃以下で管理せざるを得なくなり、特におかすが冷たくなります。また量が全部同じなので、生徒によって「少ない」「多すぎる」となります。

さらに、デリバリー方式は食育の要とされる栄養教諭の配置の義務がないので食育が難しく、民間業者のためアレルギー対応や安全の面でも不十分です。

「選択制」どこでも給食利用者少なく給食選べない

「選択制」の自治体では軒並み給食利用率が低迷し、姫路市20%、たつの市24%、昨秋から始まった大阪市は14.5%です。「選択制」で用いられる業者弁当給食が不評のうえ、親は「家庭弁当を作らないと愛情が少ないと見られかねない」と、大半が家庭弁当を選択。大多数の親が切実に給食を望んでいるのに、給食を選べないのが「選択制」です。姫路市は3月、「全員給食が望ましい」と見直しを発表しました。